

賃貸住宅建設を支援するほか、駅前広場の再整備を検討します。

▼災害に備えた

まちづくり

大雨対策として、豊木川の改修工事や川沿町雨水幹線の整備を進めます。また、地震対策として水道施設や下水道施設の耐震化を図るほか、緊急貯水槽を整備します。さらに、火山噴火を想定した総合防災訓練を実施するほか、防災フロアを整備し、効率的な災害情報の収集や迅速な対応に努めます。

▼福祉

苫小牧市地域福祉計画を改定するとともに、福祉に関する総合相談窓口を設置します。また、軽・中等度難聴児に補聴器購入費の助成を行うほか、障害者雇用奨励金事業の実施やジョブコーチ養成研修費の助成など、障がいのある方の自立と社会参加を支援します。

▼教育行政

教育や文化の振興に関する大綱を策定し、教育政策の方向を示します。また、北星小

学校を含む8校の耐震補強工事を実施するほか、学校給食のアレルギー対応食提供に向け、モデル校で試行します。さらに、青少年ミュージックキャンプ

の充実や美術博物館での各種展示会の開催など、文化芸術の振興に努めます。



▼子ども・子育て支援

幼児期の教育・保育施設の環境整備や子育て支援の拡充のほか、本市独自の取り組みとして、特定不妊治療費を助成します。また、はまなす保育園の民間移譲を進めるほか、放課後児童クラブの対象年齢拡大やこども研修事業を実施します。

▼スポーツ振興

苫小牧市スポーツ推進計画を策定するほか、新たな合宿誘致制度を設け、合宿誘致の促進やスポーツの普及につなげます。また、陸上競技場を

グランドオープンさせるほか、緑ヶ丘野球場や庭球場を大規模改修し、大会利用を促進します。

▼広域連携

定住自立圏形成に向け協議します。また、北海道新幹線×^{ニッタン}nitang地域戦略会議は、北海道新幹線開業に向け、胆振日高地域の官民が一体となり積極的なプロモーションに取り組めます。

▼主要施策

健康やかで安心・安全に暮らすまち

- ひとり親家庭の支援は、新たに学習支援ボランティア事業を実施します。
- 健康関連事業は、新保健センターでヘルスプロモーション事業を行うほか、旧道立病院を複合施設に改修します。
- 市立病院は、医師や看護師の確保に取り組むほか、東胆振・日高圏の中核病院としての機能向上に努めます。
- 消防は、新開町に消防庁舎やヘリポートを整備するほか、救急車の更新を行うなど、市民の安全確保に努めます。

▼活力ある産業と賑わいのまち

- 新千歳空港は、地域の皆さんとの協議を踏まえ、24時間運用の拡大など北海道との連携を図ります。
- 千歳基地での日米共同訓練は、市民への情報提供に努め、市民の安心・安全を確保します。

- 苫小牧港は、岸壁や背後ヤードなどを整備し、国際コンテナターミナルの機能強化を図ります。
- 中小企業振興は、起業や人材育成の支援を行い、経営の安定と基盤の強化を図ります。

▼自然と環境にやさしいまち

- 地球温暖化対策は、住宅用太陽光発電システム設置の補助や省エネルギーの推進などに取り組めます。
- 環境保全は、大気汚染や航空機騒音の常時監視を行うほか、アスベスト対策として公共施設の煙突への対策を行います。

▼快適空間に生活するまち

- 上下水道は、井戸水の水質変化が懸念される給水区域内

未給水地区の水道敷設のほか、下水道管を延命化します。

- 道路は、三条通線弥生町付近の片側2車線化に着手するほか、苫小牧中央インターチェンジの設置と緑跨線橋の拡幅の早期実現を目指します。
- 公共交通は、利用者サービス向上やバスターミナルのあり方を検討します。
- 市民会館は、複合的な機能を兼ね備えた施設として基本計画を策定します。

▼手をつなぎ歩む誇りが持てるまち

- 町内会への対応は、街路灯のLED化や町内会活動保険への助成など、支援拡充を図ります。
- 男女平等参画は、都市宣言を踏まえ、各種セミナーの開催や日本女性会議の誘致に取り組めます。
- 国際交流は、姉妹都市35周年を迎えるネーピア市に職員や市民訪問団を派遣するほか、友好都市である秦皇島市との幅広い交流を継続します。
- 平和事業は、戦後70年を迎えることから、戦争に関する講演会や映画上映会を開催し、市民啓発に取り組めます。